

公益財団法人 第五福竜丸平和協会
平成25年度事業計画

2014年第五福竜丸被災60周年記念事業に向けての取り組みを開始する。

公益目的事業

東京都の受託事業としての第五福竜丸展示館の管理・運営が当法人の基本的な事業である。開館日は、定められた休館日を除き307日となる。

引き続き、団体見学をはじめ全ての来館者に対するガイド・解説を実施する。来館者の増加のため広報活動を積極的に行う。

■展示替

第1回展示替として、第五福竜丸の歩み年表のリニューアル及び英文解説の設置を行う。

第2回展示替は、核実験、核問題年表のリニューアル及び第五福竜丸事件関係の展示パネルの一部修正を行う。

■被災60周年記念事業へのとりくみ

- 1) シンポジウム（研究発表集会）としてビキニ水爆、第五福竜丸被災、その全国的な影響を概括し、今日的な意味を明らかにする。核と人類の今後への提起を含む内容を検討する。開催時期は2014年3月～5月を予定する。

＜取り上げる分野＞

- ・ビキニ水爆実験—アメリカの太平洋核実験、世界規模のフォールアウトの実態
 - ・第五福竜丸の被爆、漁業被害、放射能の雨
 - ・環境放射能降下の地球規模の実態
 - ・ビキニ事件と市民の平和意識、その今日的意義
 - ・ビキニ事件と放射線被ばくの解明
 - ・ビキニ事件と核兵器と原子力エネルギー利用問題
 - ・未来へ向けて
- など

弊協会専門委員、役員、関係者をはじめ幅広く研究者の協同を考慮する。大学平和研究機関との協同についても検討する。

- 2) 船体・エンジンの保存に関するこれまでの取り組みを継続しつつ、60周年を契機に東京都との協議を開始する。

出版事業等

- 上記シンポジウムを基礎に各分野の論述と資料リストを収録した出版を企画する。
- 新版図録『写真でたどる第五福竜丸』（仮称）の編集・発行。2014年3月1日発行をめざす。
- ブックレットシリーズの刊行。60周年を契機に不定期刊行物として、下記の企画に基づき今年度末から発行する。
 - ①第五福竜丸ものがたり
 - ②久保山さんの死と乗組員の被ばくを解明する。
 - ③第五福竜丸の補修、保存一船大工の技
 - ④私とビキニ事件
 - ⑤第五福竜丸保存史など
- 絵本の刊行を検討する(子どもから大人までを対象に)。今年度に企画検討を行い、60周年事業として完成させる。

事業推進のための募金活動等

- 上記事業のための募金活動を展開する（目標額500万円）、また、助成事業を行っている財団などからの支援獲得などの可能性を追究する。
- 上記事業推進のためのプロジェクト・チームを編成する。